

■第1章 まちの未来像			
番号	ページ	意見等	対応状況
1	17	第4次総合計画までのように、「ゆたか」を豊川の漢字「豊」に戻してほしい。	未来像については、継続検討とさせていただきます。
2	17	「合併したら住みにくくなった」と言われる方が多い。未来像の中で「住みよい」という言葉は、ぜひ入れてほしい。	
3	17	「豊川」と付けるとこのまちのことかわかるので良い。	
4	17	「光・緑・人 輝く豊川」が一番簡潔であるが、普通の「、」にした方が良い。	
5	17	未来像の言葉はあまり変えない方が良い。	
6	17	「永遠に求める将来像」として作ったため、変える必要はない。	
7	17	もう少し計画が煮詰まった時に検討した方が良い。	

■第3章 まちづくりの基本方針			
番号	ページ	意見等	対応状況
8	19	基本方針1、3、4の中にそれぞれ少子高齢化と人口減少の内容が入っているので、基本方針の上に「まちの未来像を実現するため、少子高齢化と人口減少という変化を見据え基本方針を設定し」というようにまとめたかどうかと思う。	冒頭の文章に集約する内容に修正しました。
9	19	基本方針2の「人・モノ・金」は生臭い表現であり、信頼、知力、結びつきのように、将来に向かってのインセンティブを与えるような言い方に変えることができる。	いただいたご意見を参考にして修正しました。
10	19	3章まちづくりの基本方針を掲げることとは、現計画の目標像よりは、こちらの方が具体的で非常に良い。	—
11	19	基本方針に「東三河地域の中の位置づけを考える」のようなことを書いてとまでは言わないが、「東三河地域の中での豊川市の役割とか、可能性とかポテンシャル」を意識した政策を、この改定でやるかどうかは別として、先の改定といった時に、絶対にやらないといけなと思う。そういうことを、念頭に置いた考え方で、構成や政策を進めた方が良いと思う。	P22の「目標6」の文章において、「東三河地域における一体的な広域連携」としてより具体的な記載として追記しました。
12	19	住み続けたいまちであるためには、地域自治の視点というのは非常に重要と思う。合併したあと住みにくくなったという話があり、市民意識調査でも、一部の地域で合併後、暮らしにくくなったという意見もある。そういうことへの対策も含めて地域自治の視点というのを、もう少しとり入れてもいいと思う。	今後の事業の取組みにあたり参考にさせていただきます。
13	19	基本方針と目標は対応していないということであるが、横軸を基本方針、縦軸を目標とする相関表を作った方が、方針と目標の組み合わせがわかりやすくなると思う。	P19のリード文について、「あらゆる行政分野のまちづくりを総合的に進めていきます」とし、第4章以降の内容との関連性を意識した記述に修正しました。相関表については継続検討とさせていただきます。
14	19	「市民協働の推進」について、ボランティアのガイドラインを表に出し、町内会を含むボランティア活動と行政、総合計画の関連を、今ある定義でもう少し強調すれば、わかりやすくなると思う。	とよかわ市民協働基本方針における内容を引用し、より具体的な記述に修正しました。
15	19	行政改革推進の定義を明確にすることが大事と思う。単なる文言だけではなくて、例えば、職員の質を上げるというのはどういうことを言うのかというようなことも、定義づけをするとわかりやすいと思う。	行政経営改革プランで定める改革方針を元に、より具体的な記述に修正しました。
16	19	シティセールスについて、取組みの成果は、わかってくれる市民だけわかっているということでは、ほかの地域からお客さんは来ない。どうアピールするか、何かもう一つ柱があるのではないかという感じがする。	シティセールスの具体的な取組みの中で参考にさせていただきます。
17	19	市民協働の推進は横串となる。さらに、男女共同参画も全てにかかわってくるという視点を盛り込むべきである。男女共同参画は、政策6【地域・行政】の中に入っているが、少子高齢化、福祉、介護、雇用、経済全てにかかわってくる問題と思う。そういう視点を盛り込んでもいいと思う。	男女共同参画も横串として重要と捉えています。ここでは市民協働を特に強調する考えから、現案のとおりとさせていただきます。
18	19	(市内部の検討による。)	基本方針の表記について、施策との違いを明確にするため、「・・・の推進」から「・・・します」に修正しました。

■第4章 まちづくりの目標			
番号	ページ	意見等	対応状況
〔全体〕			
19	21、22	目標の語尾は「まち」の方が分りやすい。	語尾を「まち」としました。
20	21、22	向かっていく動きのあるものを表現したいならば「まちづくり」だが、「まち」が良い。	
21	21、22	(市内部の検討による。)	各目標の説明文の語尾について、「・・・に努めます」が多く、弱い表現であることから、「・・・に取り組みます」などの表現に修正しました。

〔目標5〕			
22	22	「魅力があり活力あるまち」は、「魅力あふれ活力あるまち」の方が読みやすい。	「魅力にあふれ活力あるまち」に修正しました。
23	22	「起業」のみではなく、「起業・創業」の方が良い。	ご意見のとおり修正しました。
24	22	「新産業の育成、起業の支援」について、新産業は必ずしも農業、工業、商業と分けられないものがあるかもしれない。スマートフォンなどのアプリケーションを素人が簡単に作ってコンテストに出している。農業か、商業か、工業かなわからないような産業の流れをきちんと捉えて、例えばブリオの市民講座でスマホのソフトの講習などをやって、中高生がクラブ活動のように勉強できるような産業育成の仕組みをつくるのが重要ではないかと感じている。	今後の事業の取組みにあたり参考にさせていただきます。
25	22	農工商というのが伝統的な区切りなのかもしれないが、これを検討し直して、ソフトウェアや芸術、若者向けのイベントも含めたものを考えてもいいと思う。	今後の事業の取組みにあたり参考にさせていただきます。
26	22	農業、工業、商業という順番は、最近は農商工が一般的である。	第1次産業の農業、第2次産業の工業、第3次産業の商工の順番で整理する考えから、現案のとおりとさせていただきます。
27	22	横串を刺すことや、それぞれの分野のコラボが一つのコンセプトであり、農業、工業、商業の連携、中心市街地と農村地域の関わり方などを考えるのが大事である。	今後の事業の取組みにあたり参考にさせていただきます。
28	22	外国からの観光客誘致というイメージは表現できないかと思う。	「市外の人」の中に外国人も含まれるため、現案のとおりとさせていただきます。
〔目標6〕			
29	22	まちづくりの基本方針3に位置づける市民協働が、目標6ではだいぶ薄れている。少子高齢化の中で、まちづくりは行政だけがやっていくのではなく、市民とともにいろいろな事業をやっていかなければいけないときに、市民協働や男女協働参画レベルに落ち着いてしまっている。	地域と行政が一緒になって取り組むイメージに近づくように表現を修正しました。
30	22	行政のそのものの課の施策を並べていくのではなくて、市民協働でなければ今後、立ち行かなくなると市民は十分わかっている。「市民が一緒になって、まちをつくっていくかなければいけない」というのが明確にわかるような目標、政策の提示を希望する。	
31	22	今後、市は現状の体制を維持するのか、民間活力を使って市民との協働に向かっていくのかが見えない。民間の力を使うなら、地域と行政がしっかり支える。今後も、行政が支えるだけの税金はないので、もう少し「民間の力を使ってやります」という表現にしないと今後、本当にやれるのかと思う。	

■第5章 施策の骨組み			
番号	ページ	意見等	対応状況
〔全体〕			
32	—	政策によって施策の数が異なっても良い。	—
33	—	目標はわかりやすいが、施策の体系で、どこに入るのかわかりにくくなってくるものがある。例えば、「食の安全・安心は目標1と目標2のどちらか」などは、これから施策を整理するときに、具体的に整理したらいいと思う。	基本計画の策定作業の中で参考にさせていただきます。
34	—	施策は具体的な中身を検討してフィードバックしていくことが必要である。	基本計画では分かりやすく内容が伝わるように努めます。
35	—	各担当課ができる、やりやすい分類になっているようで、豊川市なりの特徴が感じられない。第6次総合計画では、豊川市なりの「ここだけは譲れない」というような政策があったらいいと感じている。	まちづくりの目標を効率的に実現する組織、役割分担も必要と考えていますが、各担当課どうしの連携により、縦割りのなまちづくりにならないように努めます。また、「まちづくりの基本方針」をもとに、豊川市のまちづくりの特徴を発揮できるような計画にするよう努めます。
36	—	6つの目標、政策が科目で決まっているようなイメージを持つので、言葉を変えて整理し直してはどうか。「学ぶ」、「遊ぶ」、「協働する」など。	市内部においても、堅苦しいという意見がありましたが、分かりやすさを重視して、現案のとおりとさせていただきます。

■政策1【安全・安心】			
番号	ページ	意見等	対応状況
〔全体〕			
37	23	【安全・安心】のタイトルはふさわしいか。高齢者福祉、医療、老後の暮らしに対する不安は含まれないか。	高齢者福祉などは、【健康・福祉】の枠組みで捉えた方が分かりやすいと考え、現案のとおりとさせていただきます。
38	23	「④消防・救急体制の充実」は、政策2の【健康、福祉】で急病者の対応ではないかなど、施策の分類の見直しは結構難しい。	—
〔③防災対策の推進〕			
39	23	東日本大震災以降、防災という表現だけではなくて、減災という表現も重要だと捉えられている。この意味を含む防災という位置づけなのか。	含みます。「防災・減災」と並列して記載されることもありますが、被害を少なくする減災の活動は、自主防災活動などとして以前から防災対策の中で取り組まれています。
40	23	市内に活断層があるとすれば、「③防災対策の推進」並びに「⑥地球環境の保全」につながってくると思う。活断層の有無を知りたい。	市内に活断層はありませんが、活断層の疑いのある地形が存在しています。なお、P21の目標1で記載する「発生が予想される大規模地震などのあらゆるリスク」とは、南海トラフ巨大地震や活断層に起因する直下型地震のほか、風水害も含む災害を念頭においたものです。

■政策2【健康・福祉】			
番号	ページ	意見等	対応状況
〔①健康づくりの推進〕			
41	23	健康を守る保健や地域医療の体制の充実は、しっかりと進めていただきたい。	今後の事業の取組みにあたり参考にさせていただきます。
〔④高齢者福祉の推進〕			
42	23	予算がいることですが、在宅介護における女性への負担は大きいのでもう少し詳細に考えていただきたい。	今後の事業の取組みにあたり参考にさせていただきます。
〔③子育て支援の推進〕			
43	23	「住みたくなるまち、子育てしやすいまち」が大きなテーマであり、周辺都市でやっていることを普通にやるのではなく、夜間保育など、東京や大阪にあって、この地域にはないような施策を考えてほしい。「住みたくなるまちランキング上位10都市」などの、施策の事例を示してほしい。	先進事例を捉えながら、基本計画の策定作業を進めさせていただきます。
44	23	放課後対策で、「児童クラブ」と「放課後子ども教室」が、分類の中では分かれているのはまずいのではないかと。一度、分類の見直しを提案したいと思う。	基本計画の策定作業の中で検討させていただきます。
〔⑤障害者福祉の推進〕			
45	23	障害は様々な状況であり、中身の肉付けを考えていきたい。	—
〔⑥生活支援の充実〕			
46	23	(市内部の検討による。)	経済的な自立支援を目的とする施策であることを明確にするため、名称を「生活自立支援の充実」に修正しました。

■政策3【建設・整備】			
番号	ページ	意見等	対応状況
〔全体〕			
47	23	P21の目標3の1行目「・・・都市機能の集積と連携を図り、・・・」を受けて、施策は、総合的に進めることが必要と思われ、政策3【建設・整備】の項に「⑤拠点市街地の整備」を加えたらどうかと思う。	基本計画の策定作業と合わせて継続検討とさせていただきます。
〔②公共交通の利便性向上〕			

48	23	人が住む拠点と、商業施設や買い物する所などを結ぶための公共交通の利便性について、本当に便利なものになっていくと良いと感じる。	今後の事業の取組みにあたり参考にさせていただきます。
----	----	--	----------------------------

■政策4【教育・文化】			
番号	ページ	意見等	対応状況
〔全体〕			
49	24	次世代を担う人たちが元気にという議論が前回なされたかと思うが、青少年の育成とか、次世代育成というのが一つも入っていないのは、どんなものかと感じる。	「青少年健全育成の推進」という施策を追加させていただきました。
50	24	青少年の育成は、これからのまちを考える上ですごく大切と思う。	
51	24	子どもを育てるということは知育・徳育・体育の充実はもちろんのこと、地域みんなで、将来を背負う子どもを育てていくということを政策の中に盛り込んでいただければと思う。	
52	24	定住・交流施策のためにも、「②文化芸術の振興」と「③生涯学習の推進」の2本立てにして強くしていくのは良い。	—
53	24	プロスポーツ、プロ芸術家というのも入れていただきたい。	今後の事業の取組みにあたり参考にさせていただきます。
〔②文化芸術の振興〕			
54	24	豊かな心を育むためには、見るのも、活動するのも、心豊かに育まれる。文化会館が駐車場不足で、大ホールと中ホールを同時に使えないことを解消してほしい。	今後の事業の取組みにあたり参考にさせていただきます。
〔④スポーツの振興〕			
55	24	スポーツでは世代間の交流が行いやすい。そういった人との関わりが豊かな心を育てていくということも盛り込んでほしい。	今後の取組みにあたり参考にさせていただきます。

■政策5【産業・雇用】			
番号		意見等	対応状況
〔全体〕			
56	24	「中心市街地の活性化」や「観光の振興」にコミュニティバスが十分に活用されていない。	今後の取組みにあたり参考にさせていただきます。
57	24	新産業は、農業、工業、商業などに分類されるとは限らない。P22「目標5」の3行目「・・・新産業の誘致や育成、起業の支援・・・」とあるが、政策5【産業・雇用】の項では、これに対応できていない。①～⑥の分類に加えて、これらの分野の横断的な、例えば「⑦新産業の振興」のような施策を追加したらどうかと思う。	基本計画の策定作業と合わせて継続検討とさせていただきます。
〔①農業の振興〕			
58	24	農家の嫁対策、婚活の取り組みを行政でも行ってほしい。	今後の取組みにあたり参考にさせていただきます。
〔④中心市街地の活性化〕			
59	24	マイナス目標を掲げざるを得ないという非常に苦しい項目である。達成の見込みがない目標を掲げて非生産的である。例えば、中心市街地1箇所ではなくて、数箇所のポイントがあるので、そこがどれだけ強化されたとか、そこを利用している公共交通利用者が増えているとか、もう少しやりがいのある、効果や未来のある指標にした方が良く思う。	基本計画の策定作業と合わせて継続検討とさせていただきます。 なお、いただいた意見を踏まえ、P18の土地利用構想において、諏訪や豊川地区以外の市街地も含むことを明確にするなどの修正をしました。
60	24	諏訪や豊川から若者の集まる場所が変わってきている。実際はどうかということも調べて、施策の中に入れるといいと思う。	
61	24	豊川市は中心市街地が明確でないと市民は特に思っている。今回の第6次総合計画では中心市街地を明確にして、きちんと活性化していくのが一番良いと思う。	
62	24	中心市街地は、コンパクトシティの概念を入れた集合住宅、交通などを含めて考える必要がある。諏訪と豊川の間ではなくて、一宮、御津、小坂井とか、旧役場周辺を中心市街地として、商店のみでなく生活全般のことを考えたような概念を考えたらどうかと感じた。	
63	24	「豊川地区は観光。諏訪地区は公共施設とスポーツ、コンベンションセンター、飲食。国府地区は名古屋の通勤圏で住宅街が開発されているので駅前再開発。」など、地域の特性に応じたゾーニングをやっていくことが、魅力ある活力あるまちづくりになると思う。「国府が住宅地で今から栄えていくが、駅前再開発もやらないのか」とか、「小坂井も3つの駅があって、うまくすればすごい住宅街になりそうだけど手付かずでいる」とか、もったいない地域が一杯ある。	
〔⑤観光の振興〕			
64	24	豊川市は東三河の中心で、豊川インターチェンジ、音羽・蒲郡インターチェンジがある。アウトレットなど、若い人を集められるような施設があれば、豊川稲荷なども回って1日豊川市で遊んでもらえる観光資源になると思う。場所の問題などもあるが、若い人の職場をつくるためにも、新しい産業に目を向けるべきと思う。	今後の取組みにあたり参考にさせていただきます。
65	24	インターのある場所にアスレチックなどを作って市民協働の経営を行ったり、アウトレットをつくと良い。	今後の取組みにあたり参考にさせていただきます。
66	24	豊川海軍工廠の戦争の跡、女性歌舞伎、豊川の出身者で活躍している人などを展示する場を観光で回ってもらうと良い。	今後の取組みにあたり参考にさせていただきます。
〔⑥雇用の安定と勤労者福祉の充実〕			
67	24	目標5の文章に「勤労者」という表現はどこにもない。少し表現を変えた方が目標の中の主旨と合うのではないかとと思う。	「勤労者福祉」という文言が時代に合わないことから「勤労者支援」に修正し、P22の目標5における記述も修正しました。
68	24	大学に進学してしまうと、その大学が持っているネットワークの中でしか就職活動ができない。高校卒業時や成人式等で、メールアドレスとかTwitterアカウントを希望者から得て、就職活動の際に、地元への就職の情報を流すような仕組みをつくと、地元へ帰ってくると思う。	今後の取組みにあたり参考にさせていただきます。

■政策6【地域・行政】			
番号	ページ	意見等	対応状況
【全体】			
69	24	政策1から5はそれぞれの分野だが、政策6は全部横串である。政策6の視点は、どの施策にもきかせていくというような進め方があれば、より総合計画もうまく進んでいくと思う。	P22の目標6の文章を、【地域・行政】の政策分野が横串であることが伝わるような記述に修正しました。
【①市民協働の推進】			
70	24	政策6の「①市民協働の推進」を別項目として分けるのではなく、例えば「ごみの減量化に市民協働を活かす」とか、「子育て支援に市民協働を活かす」とうように吸収した方が、全体のまとまりが良くなるのではないかと感じた。	P22の目標6の文章を、【地域・行政】の政策分野が横串であることが伝わるような記述に修正しました。
71	24	ごみ、消防、防犯、安全、交通の問題など、さまざまなものに町内会がかかわっており、市民協働の一部だと感じている。	
72	24	「町内会に入ることが重要」という位置づけをしないと、どんどん町内会は崩壊していく。「こういう役割を持ってほしい」ということがあるならば、そういったことを考え直す必要があると思う。	P19の基本方針3で、町内会などと行政の「互いの役割と責任を明確にして連携する市民協働」と記述し、いただいた意見と同様の趣旨を表現しています。
73	24	(市内部の検討による。)	まちづくりの基本方針における「市民協働」との違いを明確にするため、施策の名称を「コミュニティ活動・市民活動の推進」に修正しました。
【⑥公共施設の適正配置と長寿命化の推進】			
74	24	公共施設の維持にかかる費用は相当のものがある。このことは「こういう形にしたらどうか」ということを、第6次総合計画の中では方向を示しているのではないかと考える。	基本計画の策定作業の中で明確にできるように検討します。
【⑦健全で持続可能な行政運営と広域連携の推進】			
75	24	東三河での豊川の役割を強く位置づけるためにも、東三河との一体感を高める表記に改めた方が良いと思う。	「東三河地域における一体的な広域連携」という記述に修正しました。

■まちづくりの目標と政策、施策の優先度			
番号	ページ	意見等	対応状況
76	—	目標とか政策は、重要度の順番で列記しているのか。	政策や施策の優先順位はつけない方針で、あらゆる取組みを総合的かつ効果的に推進するため、P19の基本方針を重点取組みとして設定しました。政策の順番は、命と財産を守るための【安全・安心】、続いて命を守る【健康・福祉】、くらしの環境を整える【建設・整備】、その環境や豊かさを前提として人づくりを行う【教育・文化】、まちづくりや生活を支える【産業・雇用】、まちづくりを支える【地域・行政】としています。施策についても同様な観点で、対象者の数などにも配慮して整理しています。
77	—	政策の優先順位を入れるかどうかというのは、大変な問題かと思うが、考えも聞きたい。組織の順番に入れていく形でつくるのか、それとも優先順位をある程度きかせて、市民にわかりやすくつくっていくのかは大事なことで、方針を決めた方がいいと思う。	
78	—	施策の骨組みは、強調するところ、大事なものが何かをわかるように書いた方がいいと思う。	
79	—	【安全・安心】が9項目、【健康・福祉】が6項目であるが、市民から見て、安全度が高いものと、非常に問題だというものが混在している。「どれが重点」という整理の仕方考えた方がわかりやすいのではないかと考える。	
80	—	少子高齢化の取り組みを行っていくのであれば、目次とか見出しを見ただけで重要なものわかるようにした方がいい。	
81	—	基本構想の「第5章 施策の骨組み」は、系統的・総合的に推進するために、いわゆるプロジェクトの形で明記することも必要と思う。	